

第5回

データマネジメント人材の育成に関するタスクフォース

2025年11月6日

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課

独立行政法人 情報処理推進機構

議事次第

1. 開会（25分）

- （1）タスクフォースの進め方
- （2）DSS改訂スケジュール案

2. 議事（90分）

- （1）データマネジメント類型の新設
- （2）ロールとスキルの定義

3. 閉会（5分）

1. 開会

(1)タスクフォースの進め方(第5回～8回の流れ)

■ 計4回の論点・ゴール・議題は以下のとおり

論点	タスクフォース進め方	
■ DSS ・「データマネジメント」の新設	第5回 (11/6(木)15-17)	・ DSS意見交換① - 類型の新設・定義 - ロールとスキルの定義
	第6回 (11/27(木)15-17)	・ DSS意見交換② - ロールとスキルの定義（続き） - データサイエンティスト類型関連の改訂 ・ プロモーション
ゴール	第7回 (12/15(月)15-17)	・ DSS意見交換③ - スキルの定義（続き） - データサイエンティスト類型関連の改訂（続き） ・ 育成方法の意見交換 ・ まとめ
■ DSS ・「データマネジメント」に関する各ロールの様式及びデータ利活用に関する共通スキルリストの更新案が概ね固まっている	第8回 (1/8(木)15-17)	・ (予備)

(2)DSS改訂スケジュール案

	2025年10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月	4月～
全体				全体スキル重要度調整			
				主査・委員意見照会	ステークホルダーへの意見照会・根回し	★DSS改訂公表	
						プロモーション	
データマネジメント	人材類型案作成	タスクフォースでの議論 ※新人材タイプのロール、責任、主な業務、スキル重要度、共通スキルリスト		スキル重要度調整		プロモーション	
		★DS協会とのDSのスキルに関する意見交換					

データマネジメントにおけるDSS改訂の方向性

DSSの改訂の事務局案概要（今回の議題内容）

1. データマネジメント類型を新設する。



データマネジメントの内容や重要性を周知し、人材育成を含む企業の活動を促進させるため、既存の類型とは分けてデータマネジメント類型として明確化する。

2. データマネジメントに求められる機能・内容を整理し、その内容を「データアーキテクト」「データスチュワード」「データエンジニア」の3ロールとして区分・定義する。



データマネジメントの仕組みの構築・運用などに関する具体的な活動を担う役割をDSSのロールとし、データマネジメントを通じたデータの利活用・価値創出に必要な機能・役割を明確化する（データエンジニアについては、既存のデータサイエンティスト類型に存在するデータエンジニアを新設のデータマネジメント類型に統合する）。

3. データマネジメントのロールに必要なスキルの共通スキルリストへの反映への方向性を確認する。



既存のスキル項目では記載できていない各ロールの主要スキルを、サブカテゴリとともに新設する。その際、共通スキルリストの考え方やDSSの活用状況を踏まえて本質的な検討を行うこととする（スキル項目の詳細は次回以降に議論）。

上記の事務局案について、次ページ以降の資料を踏まえて議論させていただきたい。

2. 議事(1)：データマネジメント類型の新設

(1) データマネジメント類型の新設

類型新設（6 類型化）の理由

- ◆ データマネジメントの活動は、既存の 5 類型の関わりや、データ活用に関わる人材としてデータサイエンティストとの区別など DSS への反映の仕方は様々考えられるが、以下のような理由から **既存の類型から独立させてデータマネジメント類型として新設・定義**することとしたい。

◆ データマネジメントの内容・重要性の明確化

データやAIの活用の上で課題となっているデータマネジメントの内容や重要性を明確にし、人材育成を含め関連する企業の活動を促進させたい。（TFの当初の目的）

◆ 人材の役割やスキルの違い・特徴の明確化

「データを利活用できるようにする人材（データマネジメント）」と「データから示唆を見出す人材（データサイエンス）」の役割やスキルの違い・特徴を明記し、それぞれを両輪で回すことが重要であることを周知したい。

◆ 想定される人材ニーズの違いへの対応

人材の育成や確保（求人）の観点で、「データを利活用できるようにする活動」と「データから示唆を見出す活動」は人材のニーズが異なる。それぞれ区別して定義することで活用しやすい内容としたい。

- ◆ データマネジメント類型を新設した上で、既存の各類型との連携内容や、データサイエンティスト類型側の見直しなどについてもあわせて検討する。

(2) データマネジメント類型の定義

データマネジメントとしての機能・役割の概要

- ・データの利活用、データからの価値創出に関する組織全体への仕組みの浸透や行動の促進
- ・データの安全性・信頼性の確保、および継続的な収集・提供（流通）の仕組みの設計・実装・運用
- ・人間だけでなくデジタル技術・サービスなどにとっても利活用可能で価値のある状態へのデータの整備

- ◆単なるデータの保管・管理ではなく、他の人材（DSSの類型・ロールおよびそれ以外のすべての人材含む）を巻き込み、組織全体としてデータからの価値創出を可能にする攻めのデータマネジメントを実現する内容であることも定義の中で表現する。
- ◆組織がデータを利活用するためには、その組織に属する人材が安心してそのデータを扱える状態にする必要がある。そのためのその環境を整備し、データを組織に流通させることをデータマネジメント類型の定義として記載する。

DSSに定義する上での留意点

- ◆DSSの利用者は、IT・デジタルの技術者やデータ関係の専門なども含まれるが、デジタル人材育成を担うDX関連部門や人事部門、または教育事業者などの担当者や、これから各類型の専門性を高めることを目指す人材を想定している。
- ◆そのため記載する内容は、それらの人材が育成施策等の検討や学びのきっかけとして活用できるよう、できるだけわかりやすい（理解に専門性を必要としない）表現とすることに留意する。

データマネジメントとは

定義

データの安全性・信頼性の確保と継続的な収集・提供（流通）の仕組みの設計・実装・運用を行い、組織全体の人材を巻き込んだデータの利活用・価値創出を促進する人材

データ利活用・価値創出のためであることを記載

データの収集・提供の仕組みについて記載

◆ DXの推進における「データマネジメント」とは

- ✓ **・データにより新たな価値を創造するため**には、組織の事業・業務プロセスにおいて発生するデータを人やシステムなどが利活用できる状態を継続的に確保し、運用していくことが重要となる。そのために**データの安全性や信頼性を確保し、またそのデータを組織の様々な目的に対して再利用可能にした上で、継続的に収集・提供させる仕組みの設計・実装・運用**をすることが求められる。
- ✓ 「データマネジメント」の類型は、そのための**データ定義や運用ルールを組織に対して浸透させ、データを人間だけではなくデジタル技術・サービスいずれにとっても利活用可能な状態に整備し、データ基盤などのアーキテクチャの設計・整備・実装とともにデータの安全性・信頼性の確保と継続的な収集・提供**を可能にし、さらに**組織全体の人材を巻き込みデータの利活用・データからの価値創出の行動を促進させる**役割を担う。

◆ 他の5類型との連携による組織基盤としての「データマネジメント」の構築

各人材との連携・巻き込んだ活動とすることを記載

- ✓ 「データマネジメント」の実行においては、組織の事業や戦略を理解し、また他の類型・ロールと連携し、組織全体にデータの重要性に関する理解や利活用・価値創出の行動を促進し、浸透させることが重要となる。
- ✓ そのためには、組織の事業戦略（データ戦略を含む）や製品サービスの設計などにおけるビジネスアーキテクトやデザイナーとの連携、データからの価値創出の具体化・高度化のためのデータサイエンティストとの連携、各種システム等との連携・環境構築におけるソフトウェアエンジニアとの連携、データや関連システムの安全性に関するポリシー・ルール設計等におけるサイバーセキュリティとの連携を実行し、さらにそれ以外のすべての人材も巻き込んで組織基盤としてのデータマネジメントの仕組みを構築することが求められる。

データマネジメントとは | 期待される役割 (1/2)

- 「データマネジメント」に具体的に期待される役割や求められるアクションは、以下のとおり。

データ利活用・価値創出のためであることを記載

◆ 組織の全ての人材に対しデータの利活用・価値創出の行動を促進させ、組織全体の変革を推進する

- ✓ データマネジメントは、単なるデータの保管や管理だけではなく、**データの利活用や新たな価値創出のための組織基盤として構築することが求められる**。そのため、**組織に属する人材全てに対して、データの利活用やデータからの価値創出の重要性やデータマネジメントの仕組みの理解を浸透させ、実際にデータ利活用・価値創出の行動を起こさせることが重要となる**。
- ✓ データの利活用・価値創出を促進するデータマネジメントを構築・浸透させるためには、データマネジメント類型の人材が中心となりながらも、**その他の類型の人材を含むすべての人材を巻き込み、データを起点とした変革の行動のきっかけを作り、変革の触媒となることで組織全体の変革を推進し続けることが求められる**。

データの収集・提供の仕組みについて記載

◆ 人間やデジタル技術・サービスが安心して利活用できるようなデータの整備やデータの収集・提供の仕組みの構築

- ✓ 組織がデータを十分に利活用するためには、そのデータが**セキュリティ基準や関係法令**に照らして問題がないか、他の組織や人間が収集・入力したデータであっても自組織と**同じ基準で利用**できるかなど、**様々な観点での品質が担保**されている必要がある。そのためデータマネジメントでは、組織の**セキュリティ基準や国内外の関連法規制への対応、データをさまざまな目的に再利用可能にするためのルール**（用語、アクセス権限、運用ルール等）を自らが遵守するとともに**組織内に対しても浸透させ、データの安全性や信頼性の確保が必要であることを周知**し、事業・業務プロセスにおいて発生するデータを**適切に収集・管理し提供する環境を構築**することが求められる。
- ✓ そのような環境をデータ整備、**データの品質管理・モニタリングの仕組みやデータ基盤、データ収集・提供のアーキテクチャなどの設計・構築・実装や運用などによって実現**させることが必要であり、またその際のデータは人間だけでなく、AIなども含むデジタル技術やサービスにとっても利活用可能なデータや仕組みとすることも重要となる。

2. 議事(2) : ロールとスキル定義

(3) データマネジメントにおけるDSS改訂の方向性

再掲

DSSの改訂の事務局案概要（今回の議題内容）

1. データマネジメント類型を新設する。



データマネジメントの内容や重要性を周知し、人材育成を含む企業の活動を促進させるため、既存の類型とは分けてデータマネジメント類型として明確化する。

2. データマネジメントに求められる機能・内容を整理し、その内容を「データアーキテクト」「データスチュワード」「データエンジニア」の3ロールとして区分・定義する。



データマネジメントの仕組みの構築・運用などに関する具体的な活動を担う役割をDSSのロールとし、データマネジメントを通じたデータの利活用・価値創出に必要な機能・役割を明確化する（データエンジニアについては、既存のデータサイエンティスト類型に存在するデータエンジニアを新設のデータマネジメント類型に統合する）。

3. データマネジメントのロールに必要なスキルの共通スキルリストへの反映への方向性を確認する。



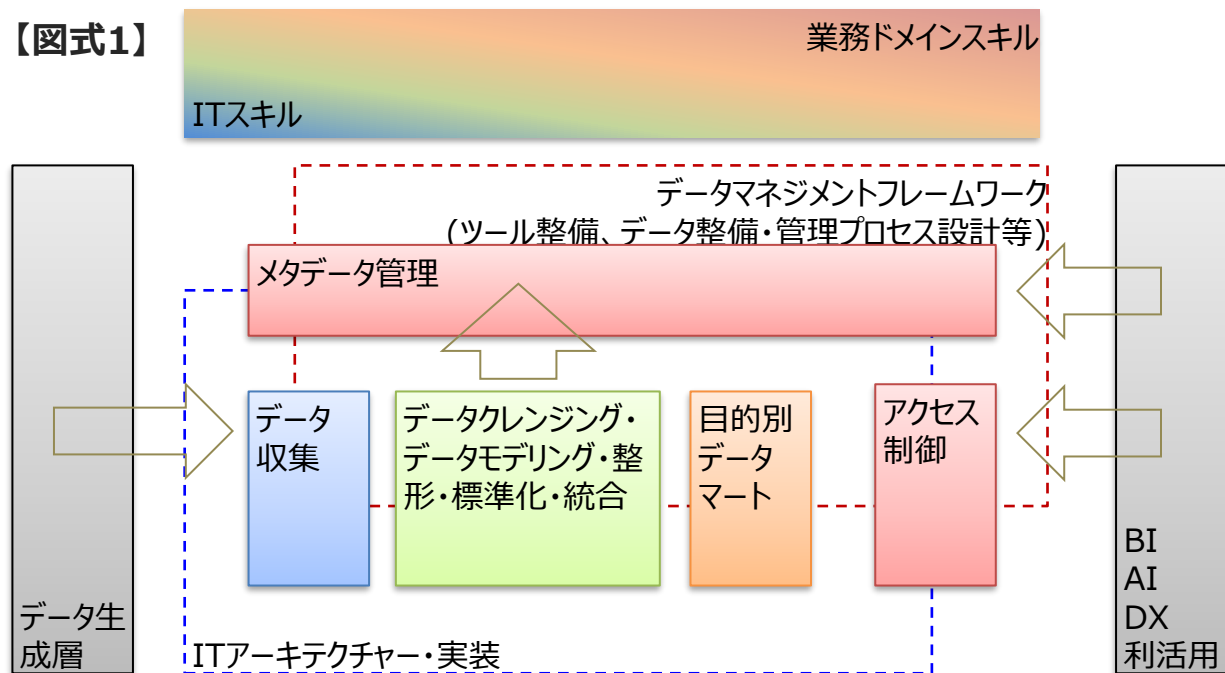
既存のスキル項目では記載できていない各ロールの主要スキルを、サブカテゴリとともに新設する。その際、共通スキルリストの考え方やDSSの活用状況を踏まえて本質的な検討を行うこととする（スキル項目の詳細は次回以降に議論）。

上記の事務局案について、次ページ以降の資料を踏まえて議論させていただきたい。

1. データ基盤モデルと必要スキル傾向

- 一般的なデータ基盤・機能の簡易モデルは以下図式1の通り
- データマネジメント機能の内、メタデータ・アクセス制御・目的別データマートの設計・整備等は、業務ドメインスキルが必須。
- 一方で、収集・クレンジング・統合等は、SQLに代表されるITスキルが必要
- またデータマネジメントのポリシーメイク、データマネジメント業務に必要なツール選定と運用方法、ルール・ガイドラインの整備なども非日常的機能も必要
- 同様に、データ基盤の実装設計やセキュリティ保証、時にEA的なシステム配置などの検討・設計も必要となる

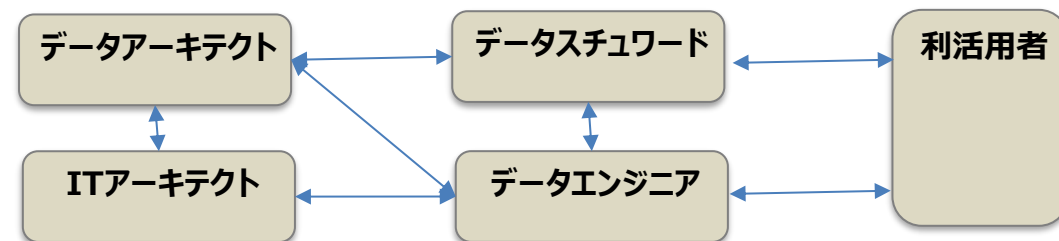
【図式1】



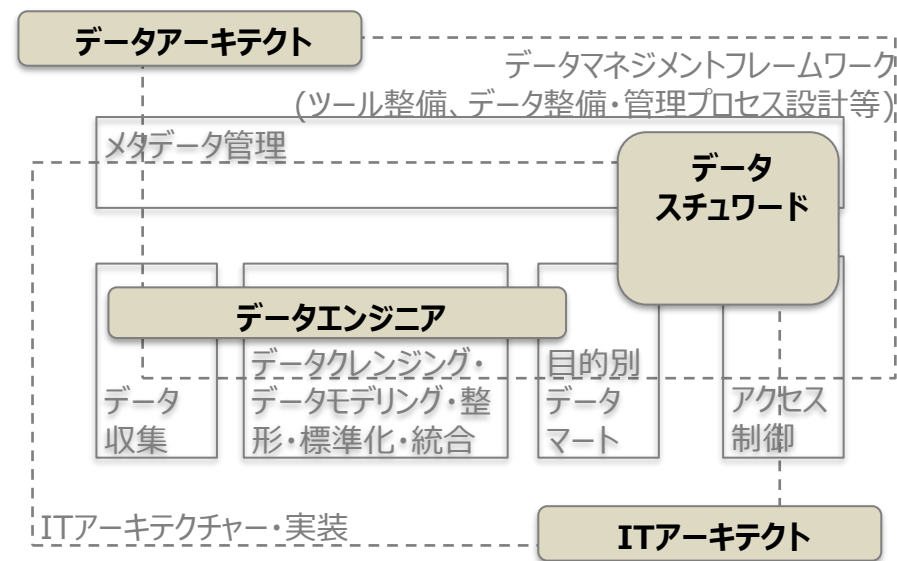
2. データマネジメント人材の役割・職業名定義

- 同モデルに従い、グローバル標準な職業をマップを図式2で示す
- 各役割上、主なコミュニケーションパスを図式3に示す

【図式3】



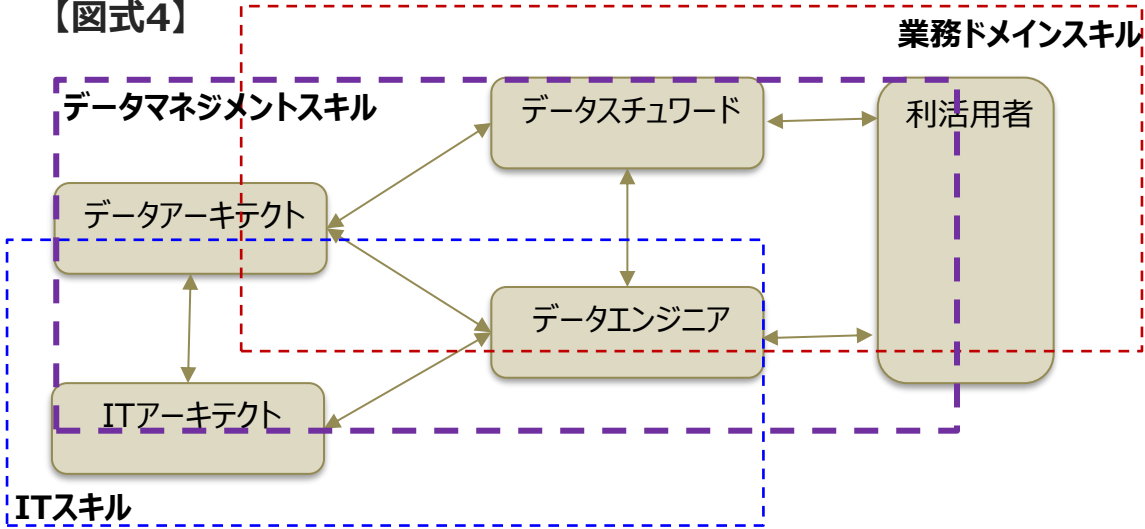
【図式2】



3. 業務ドメインスキル x データマネジメントスキル x ITスキルの関係

➤ 各役割・職業に必要なスキルの簡易マップは以下の通り

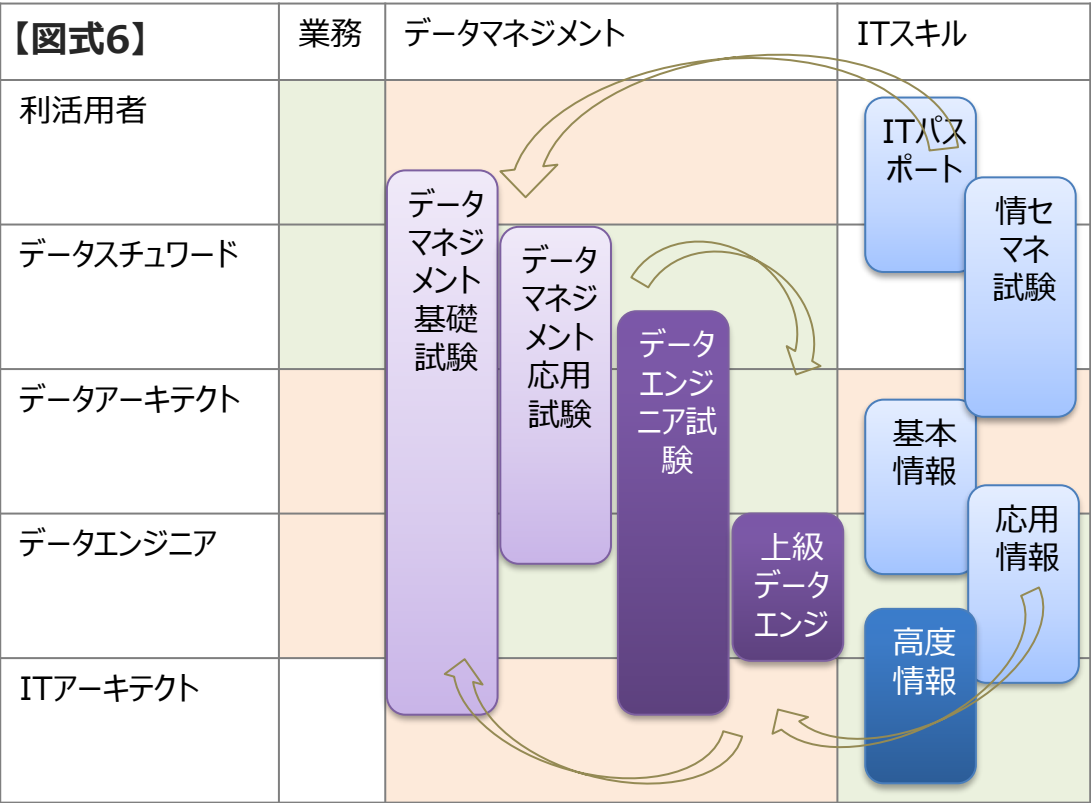
【図式4】



【図式5】	業務ドメイン	データマネジメント	ITスキル
利活用者	MUST	SHOULD	
データスチュワード	MUST	MUST	
データアーキテクト	SHOULD	MUST	SHOULD
データエンジニア	SHOULD	MUST	MUST
ITアーキテクト		SHOULD	MUST

4. データマネジメントスキルと試験・資格の関係

- 知識・技能型の試験、職業資格型の試験に多くは大別される
- 知識・技能型として、データマネジメント {基礎・応用} 試験を設置 ITパスポート、情セマネ、からの能力開発・キャリアパス
- 職業資格型として、データエンジニア {(基本)・上級} 試験を設置 既存IT系エンジニアからの能力開発・キャリアパス
- ビジネス → データ ← IT、両面を企図



5. DSS標準スキルにおけるデータマネジメントスキル定義

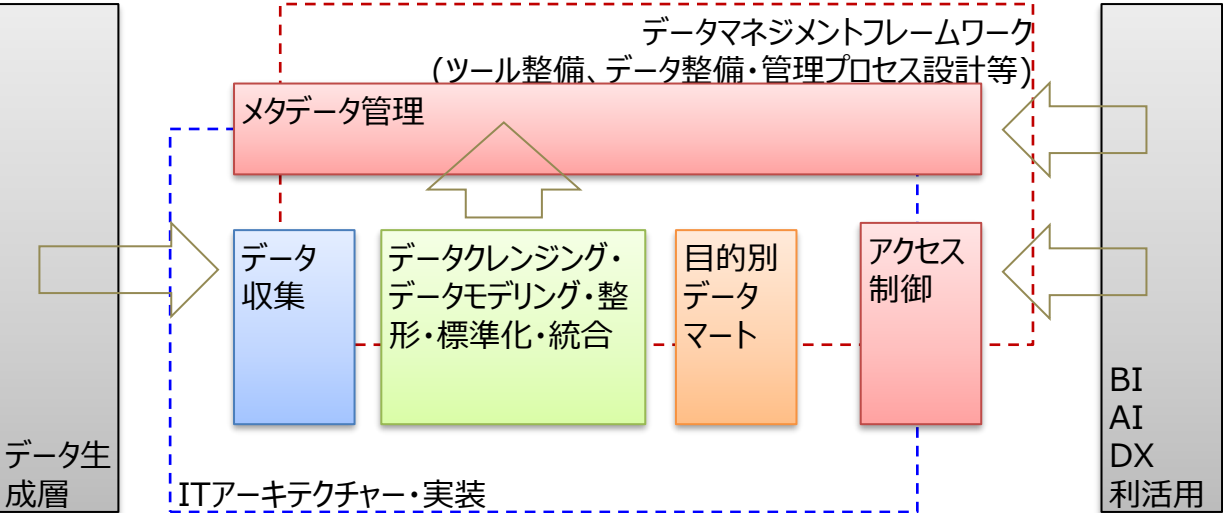
藤咲委員提供資料

データマネジメントに必要なスキルをDSS標準スキルとして定義すると以下の通り

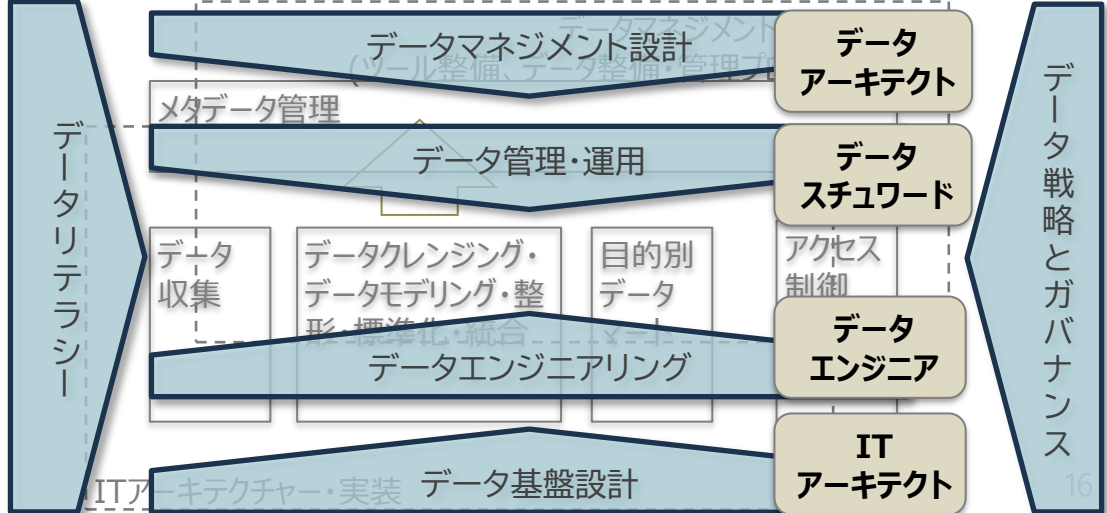
サブカテゴリー	スキル項目	スキル略称	内容
データマネジメント	データ戦略とデータガバナンスポリシー策定	データ戦略とガバナンス	企業・組織全体のデータ戦略を策定し、データの価値を最大化するための方針を定めるスキル データの管理・利用に関するガバナンスポリシーを設計し、組織全体で遵守するスキル
	データリテラシー（関連法・社内規定の理解と実践）	データリテラシー	取り扱うデータに関連する法令等やプライバシー保護に求められる要件の理解とその実践に関するスキル
	データ品質管理・メタデータ整備・アクセス制御	データ管理・運用	データ品質やメタデータの現状を把握・分析し、あるべき状態を定義して、維持・向上を行うスキル データへのアクセス権限・ルート(仕組み)を設計し、セキュリティを確保するスキル データの標準化やクレンジングの方針を定め、データの整合性と品質を確保するスキル
	データエンジニアリング（収集・統合・提供）	データエンジニアリング	データパイプラインやデータマートを設計し、データの統合・分析を効率化するスキル 複数のシステム間・企業間でデータ連携を設計し、一貫性と整合性を確保したデータを提供するスキル
	データマネジメントの仕組みの設計と改善	データマネジメント設計	データの収集、保存、利用、廃棄に関するプロセスを策定し、適切に監視・管理するスキル データモデルやデータフローを設計し、データの流れを最適化するスキル
	データ基盤の設計・構築・運用	データ基盤設計	データ基盤の設計を行い、データの収集・保存・分析を効率的に行うための環境を整備するスキル

一般的なデータ基盤・機能の簡易モデル（図式1）にデータマネジメントスキルおよび職業名をマッピングすると以下の通り

【図式1】



【図式7】



共有事項：共通スキルリストの考え方と反映への方向性

DSSにおける共通スキルリストの考え方(1/3)

- ◆DSS策定当初の共通スキルリストの考え方は以下の通り。
- ◆詳細・複雑すぎて各企業（教育事業者含む）が活用しにくならないよう、全体の整合やボリュームを調整し策定している。

共通スキルディクショナリーの考え方①

2022年デジタルスキル標準検討WG資料

- 共通スキルディクショナリーは、5つの人材類型共通で使用する
 - ・ 5つの人材類型のいずれの人材像も使用しない項目が残ることも想定する。
- スキルカテゴリは5つの人材類型との対応を考慮して定義
- スキルカテゴリはDXリテラシー標準との対応も考慮して定義
- 各スキルカテゴリは以下の考えで2つのサブカテゴリに分ける
 - ・ 1番目: 主要な活動を大きくりに整理したもの
 - ・ 2番目: それを支える主要な要素技術、手法を大きくりに整理したもの
- 全体のスキル項目数は、最終的に50を超えない程度に留める

DSSにおける共通スキルリストの考え方(2/3)

◆DSSのスキル項目は、各ロールで重要度を設定しているが、スキル項目自体は各類型・ロール共通の内容として定義している。

各ロール定義

第Ⅲ部 第3章 人材類型・ロール c.データサイエンティスト

データサイエンティストのロール | 担う責任・主な業務・スキル (1/3)

人材類型	データサイエンティスト																																																																																																																																																		
ロール	データビジネスストラテジスト																																																																																																																																																		
DXの推進において担う責任	事業戦略に沿ったデータの活用戦略を考えると、戦略の具体化や実現を主導し、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する																																																																																																																																																		
主な業務	<ul style="list-style-type: none"> 自社の事業戦略におけるデータの活用は是非の判断や事業戦略を実現するためのデータ活用戦略を策定する データ活用戦略を実現するためのプロセスを企画・主導し、他の人材類型や他のロールとの連携のコーディネート、データ活用領域のプロジェクトのマネジメントを行う 現場部門と一体となって、データを活用する業務の設計や見直しを行い、新規事業の創出や現場業務の変革・改善を達成する 取組みの成果や課題を把握し、次の取組みへとつなげる 																																																																																																																																																		
必要なスキル	<table> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> </tr> <tr> <td rowspan="12">ビジネス変革</td> <td rowspan="6">戦略・マネジメントシステム</td> <td>ビジネス戦略策定・実行</td> <td>b</td> <td rowspan="6">データ活用</td> <td rowspan="6">データ・AIの戦略的活用</td> <td>データ理解・活用</td> <td>a</td> <td rowspan="6">テクノロジ</td> <td rowspan="6">デジタルテクノロジ</td> <td>フィジカルコンピューティング</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント</td> <td>c</td> <td>データ・AI活用戦略</td> <td>a</td> <td>その他先進技術</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>変革マネジメント</td> <td>c</td> <td>データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価</td> <td>a</td> <td>テクノロジトレンド</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>システムエンジニアリング</td> <td>c</td> <td>数理統計・多変量解析・データ可視化</td> <td>a</td> <td>セキュリティ体制構築・運営</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>エンタープライズアーキテクチャ</td> <td>c</td> <td>機械学習・深層学習</td> <td>c</td> <td>セキュリティマネジメント</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント</td> <td>b</td> <td>データ活用基礎設計</td> <td>c</td> <td>インシデント対応と事業継続</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ビジネスモデル・プロセス</td> <td>ビジネス調査</td> <td>b</td> <td rowspan="6">データエンジニアリング</td> <td rowspan="6">データ活用基盤実装・運用</td> <td>データ活用基盤実装・運用</td> <td>c</td> <td rowspan="6">セキュリティ</td> <td rowspan="6">セキュリティ技術</td> <td>プライバシー保護</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>ビジネスモデル設計</td> <td>b</td> <td>コンピュータサイエンス</td> <td>d</td> <td>セキュリティ設計・開発・構築</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>ビジネスアナリシス</td> <td>b</td> <td>チーム開発</td> <td>b</td> <td>セキュリティ運用・保守・監視</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>検証（ビジネス視点）</td> <td>b</td> <td>ソフトウェア設計手法</td> <td>c</td> <td>リダーシップ</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>マーケティング</td> <td>c</td> <td>ソフトウェア開発プロセス</td> <td>c</td> <td>コラボレーション</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>ブランディング</td> <td>c</td> <td>Webアプリケーション基本技術</td> <td>d</td> <td>ゴール設定</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">デザイン</td> <td rowspan="6">デザイン</td> <td>顧客・ユーザー理解</td> <td>b</td> <td rowspan="6">テクノロジ</td> <td rowspan="6">ソフトウェア開発</td> <td>フロントエンドシステム開発</td> <td>d</td> <td rowspan="6">パーソナルスキル</td> <td rowspan="6">コンセプチュアルスキル</td> <td>創造的な問題解決</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>価値発見・定義</td> <td>b</td> <td>バックエンドシステム開発</td> <td>d</td> <td>批判的思考</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>c</td> <td>クラウドインフラ活用</td> <td>d</td> <td>適応力</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>検証（顧客・ユーザー視点）</td> <td>b</td> <td>SREプロセス</td> <td>c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他デザイン技術</td> <td>d</td> <td>サービス活用</td> <td>c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	b	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	a	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c	プロジェクトマネジメント	c	データ・AI活用戦略	a	その他先進技術	c	変革マネジメント	c	データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	a	テクノロジトレンド	c	システムエンジニアリング	c	数理統計・多変量解析・データ可視化	a	セキュリティ体制構築・運営	d	エンタープライズアーキテクチャ	c	機械学習・深層学習	c	セキュリティマネジメント	c	プロジェクトマネジメント	b	データ活用基礎設計	c	インシデント対応と事業継続	c	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	b	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	データ活用基盤実装・運用	c	セキュリティ	セキュリティ技術	プライバシー保護	b	ビジネスモデル設計	b	コンピュータサイエンス	d	セキュリティ設計・開発・構築	d	ビジネスアナリシス	b	チーム開発	b	セキュリティ運用・保守・監視	d	検証（ビジネス視点）	b	ソフトウェア設計手法	c	リダーシップ	z	マーケティング	c	ソフトウェア開発プロセス	c	コラボレーション	z	ブランディング	c	Webアプリケーション基本技術	d	ゴール設定	z	デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	b	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	d	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z	価値発見・定義	b	バックエンドシステム開発	d	批判的思考	z	設計	c	クラウドインフラ活用	d	適応力	z	検証（顧客・ユーザー視点）	b	SREプロセス	c			その他デザイン技術	d	サービス活用	c								
カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度																																																																																																																																								
ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	b	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	a	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c																																																																																																																																								
		プロジェクトマネジメント	c			データ・AI活用戦略	a			その他先進技術	c																																																																																																																																								
		変革マネジメント	c			データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	a			テクノロジトレンド	c																																																																																																																																								
		システムエンジニアリング	c			数理統計・多変量解析・データ可視化	a			セキュリティ体制構築・運営	d																																																																																																																																								
		エンタープライズアーキテクチャ	c			機械学習・深層学習	c			セキュリティマネジメント	c																																																																																																																																								
		プロジェクトマネジメント	b			データ活用基礎設計	c			インシデント対応と事業継続	c																																																																																																																																								
	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	b	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	データ活用基盤実装・運用	c	セキュリティ	セキュリティ技術	プライバシー保護	b																																																																																																																																								
		ビジネスモデル設計	b			コンピュータサイエンス	d			セキュリティ設計・開発・構築	d																																																																																																																																								
		ビジネスアナリシス	b			チーム開発	b			セキュリティ運用・保守・監視	d																																																																																																																																								
		検証（ビジネス視点）	b			ソフトウェア設計手法	c			リダーシップ	z																																																																																																																																								
		マーケティング	c			ソフトウェア開発プロセス	c			コラボレーション	z																																																																																																																																								
		ブランディング	c			Webアプリケーション基本技術	d			ゴール設定	z																																																																																																																																								
デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	b	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	d	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z																																																																																																																																								
		価値発見・定義	b			バックエンドシステム開発	d			批判的思考	z																																																																																																																																								
		設計	c			クラウドインフラ活用	d			適応力	z																																																																																																																																								
		検証（顧客・ユーザー視点）	b			SREプロセス	c																																																																																																																																												
		その他デザイン技術	d			サービス活用	c																																																																																																																																												

【重要度凡例】

a 高い実力性と専門性が必要
b 一定の実力性と専門性が必要
c 説明可能なレベルで専門性が必須
d 位置づけや関連性の理解が必要
z 役割や状況に応じた実能力が必要

第Ⅲ部 第3章 人材類型・ロール c.データサイエンティスト

データサイエンティストのロール | 担う責任・主な業務・スキル (1/3)

人材類型	データサイエンティスト																																																																																																																																																		
ロール	データビジネスストラテジスト																																																																																																																																																		
DXの推進において担う責任	事業戦略に沿ったデータの活用戦略を考えると、戦略の具体化や実現を主導し、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する																																																																																																																																																		
主な業務	<ul style="list-style-type: none"> 自社の事業戦略におけるデータの活用は是非の判断や事業戦略を実現するためのデータ活用戦略を策定する データ活用戦略を実現するためのプロセスを企画・主導し、他の人材類型や他のロールとの連携のコーディネート、データ活用領域のプロジェクトのマネジメントを行う 現場部門と一体となって、データを活用する業務の設計や見直しを行い、新規事業の創出や現場業務の変革・改善を達成する 取組みの成果や課題を把握し、次の取組みへとつなげる 																																																																																																																																																		
必要なスキル	<table> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> </tr> <tr> <td rowspan="12">ビジネス変革</td> <td rowspan="6">戦略・マネジメントシステム</td> <td>ビジネス戦略策定・実行</td> <td>b</td> <td rowspan="6">データ活用</td> <td rowspan="6">データ・AIの戦略的活用</td> <td>データ理解・活用</td> <td>a</td> <td rowspan="6">テクノロジ</td> <td rowspan="6">デジタルテクノロジ</td> <td>フィジカルコンピューティング</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント</td> <td>c</td> <td>データ・AI活用戦略</td> <td>a</td> <td>その他先進技術</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>変革マネジメント</td> <td>c</td> <td>データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価</td> <td>a</td> <td>テクノロジトレンド</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>システムエンジニアリング</td> <td>c</td> <td>数理統計・多変量解析・データ可視化</td> <td>a</td> <td>セキュリティ体制構築・運営</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>エンタープライズアーキテクチャ</td> <td>c</td> <td>機械学習・深層学習</td> <td>c</td> <td>セキュリティマネジメント</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント</td> <td>b</td> <td>データ活用基礎設計</td> <td>c</td> <td>インシデント対応と事業継続</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ビジネスモデル・プロセス</td> <td>ビジネス調査</td> <td>b</td> <td rowspan="6">データエンジニアリング</td> <td rowspan="6">データ活用基盤実装・運用</td> <td>データ活用基盤実装・運用</td> <td>c</td> <td rowspan="6">セキュリティ</td> <td rowspan="6">セキュリティ技術</td> <td>プライバシー保護</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>ビジネスモデル設計</td> <td>b</td> <td>コンピュータサイエンス</td> <td>d</td> <td>セキュリティ設計・開発・構築</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>ビジネスアナリシス</td> <td>b</td> <td>チーム開発</td> <td>b</td> <td>セキュリティ運用・保守・監視</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>検証（ビジネス視点）</td> <td>b</td> <td>ソフトウェア設計手法</td> <td>c</td> <td>リダーシップ</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>マーケティング</td> <td>c</td> <td>ソフトウェア開発プロセス</td> <td>c</td> <td>コラボレーション</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>ブランディング</td> <td>c</td> <td>Webアプリケーション基本技術</td> <td>d</td> <td>ゴール設定</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">デザイン</td> <td rowspan="6">デザイン</td> <td>顧客・ユーザー理解</td> <td>b</td> <td rowspan="6">テクノロジ</td> <td rowspan="6">ソフトウェア開発</td> <td>フロントエンドシステム開発</td> <td>d</td> <td rowspan="6">パーソナルスキル</td> <td rowspan="6">コンセプチュアルスキル</td> <td>創造的な問題解決</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>価値発見・定義</td> <td>b</td> <td>バックエンドシステム開発</td> <td>d</td> <td>批判的思考</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>c</td> <td>クラウドインフラ活用</td> <td>d</td> <td>適応力</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>検証（顧客・ユーザー視点）</td> <td>b</td> <td>SREプロセス</td> <td>c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他デザイン技術</td> <td>d</td> <td>サービス活用</td> <td>c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	b	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	a	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c	プロジェクトマネジメント	c	データ・AI活用戦略	a	その他先進技術	c	変革マネジメント	c	データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	a	テクノロジトレンド	c	システムエンジニアリング	c	数理統計・多変量解析・データ可視化	a	セキュリティ体制構築・運営	d	エンタープライズアーキテクチャ	c	機械学習・深層学習	c	セキュリティマネジメント	c	プロジェクトマネジメント	b	データ活用基礎設計	c	インシデント対応と事業継続	c	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	b	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	データ活用基盤実装・運用	c	セキュリティ	セキュリティ技術	プライバシー保護	b	ビジネスモデル設計	b	コンピュータサイエンス	d	セキュリティ設計・開発・構築	d	ビジネスアナリシス	b	チーム開発	b	セキュリティ運用・保守・監視	d	検証（ビジネス視点）	b	ソフトウェア設計手法	c	リダーシップ	z	マーケティング	c	ソフトウェア開発プロセス	c	コラボレーション	z	ブランディング	c	Webアプリケーション基本技術	d	ゴール設定	z	デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	b	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	d	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z	価値発見・定義	b	バックエンドシステム開発	d	批判的思考	z	設計	c	クラウドインフラ活用	d	適応力	z	検証（顧客・ユーザー視点）	b	SREプロセス	c			その他デザイン技術	d	サービス活用	c								
カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度																																																																																																																																								
ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	b	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	a	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c																																																																																																																																								
		プロジェクトマネジメント	c			データ・AI活用戦略	a			その他先進技術	c																																																																																																																																								
		変革マネジメント	c			データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	a			テクノロジトレンド	c																																																																																																																																								
		システムエンジニアリング	c			数理統計・多変量解析・データ可視化	a			セキュリティ体制構築・運営	d																																																																																																																																								
		エンタープライズアーキテクチャ	c			機械学習・深層学習	c			セキュリティマネジメント	c																																																																																																																																								
		プロジェクトマネジメント	b			データ活用基礎設計	c			インシデント対応と事業継続	c																																																																																																																																								
	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	b	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	データ活用基盤実装・運用	c	セキュリティ	セキュリティ技術	プライバシー保護	b																																																																																																																																								
		ビジネスモデル設計	b			コンピュータサイエンス	d			セキュリティ設計・開発・構築	d																																																																																																																																								
		ビジネスアナリシス	b			チーム開発	b			セキュリティ運用・保守・監視	d																																																																																																																																								
		検証（ビジネス視点）	b			ソフトウェア設計手法	c			リダーシップ	z																																																																																																																																								
		マーケティング	c			ソフトウェア開発プロセス	c			コラボレーション	z																																																																																																																																								
		ブランディング	c			Webアプリケーション基本技術	d			ゴール設定	z																																																																																																																																								
デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	b	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	d	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z																																																																																																																																								
		価値発見・定義	b			バックエンドシステム開発	d			批判的思考	z																																																																																																																																								
		設計	c			クラウドインフラ活用	d			適応力	z																																																																																																																																								
		検証（顧客・ユーザー視点）	b			SREプロセス	c																																																																																																																																												
		その他デザイン技術	d			サービス活用	c																																																																																																																																												

【重要度凡例】

a 高い実力性と専門性が必要
b 一定の実力性と専門性が必要
c 説明可能なレベルで専門性が必須
d 位置づけや関連性の理解が必要
z 役割や状況に応じた実能力が必要

第Ⅲ部 第3章 人材類型・ロール c.データサイエンティスト

データサイエンティストのロール | 担う責任・主な業務・スキル (1/3)

人材類型	データサイエンティスト																																																																																																																																																		
ロール	データビジネスストラテジスト																																																																																																																																																		
DXの推進において担う責任	事業戦略に沿ったデータの活用戦略を考えると、戦略の具体化や実現を主導し、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する																																																																																																																																																		
主な業務	<ul style="list-style-type: none"> 自社の事業戦略におけるデータの活用は是非の判断や事業戦略を実現するためのデータ活用戦略を策定する データ活用戦略を実現するためのプロセスを企画・主導し、他の人材類型や他のロールとの連携のコーディネート、データ活用領域のプロジェクトのマネジメントを行う 現場部門と一体となって、データを活用する業務の設計や見直しを行い、新規事業の創出や現場業務の変革・改善を達成する 取組みの成果や課題を把握し、次の取組みへとつなげる 																																																																																																																																																		
必要なスキル	<table> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> <th>カテゴリ</th> <th>サブカテゴリ</th> <th>スキル項目</th> <th>重要度</th> </tr> <tr> <td rowspan="12">ビジネス変革</td> <td rowspan="6">戦略・マネジメントシステム</td> <td>ビジネス戦略策定・実行</td> <td>b</td> <td rowspan="6">データ活用</td> <td rowspan="6">データ・AIの戦略的活用</td> <td>データ理解・活用</td> <td>a</td> <td rowspan="6">テクノロジ</td> <td rowspan="6">デジタルテクノロジ</td> <td>フィジカルコンピューティング</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント</td> <td>c</td> <td>データ・AI活用戦略</td> <td>a</td> <td>その他先進技術</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>変革マネジメント</td> <td>c</td> <td>データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価</td> <td>a</td> <td>テクノロジトレンド</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>システムエンジニアリング</td> <td>c</td> <td>数理統計・多変量解析・データ可視化</td> <td>a</td> <td>セキュリティ体制構築・運営</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>エンタープライズアーキテクチャ</td> <td>c</td> <td>機械学習・深層学習</td> <td>c</td> <td>セキュリティマネジメント</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>プロジェクトマネジメント</td> <td>b</td> <td>データ活用基礎設計</td> <td>c</td> <td>インシデント対応と事業継続</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ビジネスモデル・プロセス</td> <td>ビジネス調査</td> <td>b</td> <td rowspan="6">データエンジニアリング</td> <td rowspan="6">データ活用基盤実装・運用</td> <td>データ活用基盤実装・運用</td> <td>c</td> <td rowspan="6">セキュリティ</td> <td rowspan="6">セキュリティ技術</td> <td>プライバシー保護</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>ビジネスモデル設計</td> <td>b</td> <td>コンピュータサイエンス</td> <td>d</td> <td>セキュリティ設計・開発・構築</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>ビジネスアナリシス</td> <td>b</td> <td>チーム開発</td> <td>b</td> <td>セキュリティ運用・保守・監視</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>検証（ビジネス視点）</td> <td>b</td> <td>ソフトウェア設計手法</td> <td>c</td> <td>リダーシップ</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>マーケティング</td> <td>c</td> <td>ソフトウェア開発プロセス</td> <td>c</td> <td>コラボレーション</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>ブランディング</td> <td>c</td> <td>Webアプリケーション基本技術</td> <td>d</td> <td>ゴール設定</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">デザイン</td> <td rowspan="6">デザイン</td> <td>顧客・ユーザー理解</td> <td>b</td> <td rowspan="6">テクノロジ</td> <td rowspan="6">ソフトウェア開発</td> <td>フロントエンドシステム開発</td> <td>d</td> <td rowspan="6">パーソナルスキル</td> <td rowspan="6">コンセプチュアルスキル</td> <td>創造的な問題解決</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>価値発見・定義</td> <td>b</td> <td>バックエンドシステム開発</td> <td>d</td> <td>批判的思考</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>c</td> <td>クラウドインフラ活用</td> <td>d</td> <td>適応力</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>検証（顧客・ユーザー視点）</td> <td>b</td> <td>SREプロセス</td> <td>c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他デザイン技術</td> <td>d</td> <td>サービス活用</td> <td>c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	b	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	a	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c	プロジェクトマネジメント	c	データ・AI活用戦略	a	その他先進技術	c	変革マネジメント	c	データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	a	テクノロジトレンド	c	システムエンジニアリング	c	数理統計・多変量解析・データ可視化	a	セキュリティ体制構築・運営	d	エンタープライズアーキテクチャ	c	機械学習・深層学習	c	セキュリティマネジメント	c	プロジェクトマネジメント	b	データ活用基礎設計	c	インシデント対応と事業継続	c	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	b	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	データ活用基盤実装・運用	c	セキュリティ	セキュリティ技術	プライバシー保護	b	ビジネスモデル設計	b	コンピュータサイエンス	d	セキュリティ設計・開発・構築	d	ビジネスアナリシス	b	チーム開発	b	セキュリティ運用・保守・監視	d	検証（ビジネス視点）	b	ソフトウェア設計手法	c	リダーシップ	z	マーケティング	c	ソフトウェア開発プロセス	c	コラボレーション	z	ブランディング	c	Webアプリケーション基本技術	d	ゴール設定	z	デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	b	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	d	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z	価値発見・定義	b	バックエンドシステム開発	d	批判的思考	z	設計	c	クラウドインフラ活用	d	適応力	z	検証（顧客・ユーザー視点）	b	SREプロセス	c			その他デザイン技術	d	サービス活用	c								
カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	重要度																																																																																																																																								
ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	b	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	a	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c																																																																																																																																								
		プロジェクトマネジメント	c			データ・AI活用戦略	a			その他先進技術	c																																																																																																																																								
		変革マネジメント	c			データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	a			テクノロジトレンド	c																																																																																																																																								
		システムエンジニアリング	c			数理統計・多変量解析・データ可視化	a			セキュリティ体制構築・運営	d																																																																																																																																								
		エンタープライズアーキテクチャ	c			機械学習・深層学習	c			セキュリティマネジメント	c																																																																																																																																								
		プロジェクトマネジメント	b			データ活用基礎設計	c			インシデント対応と事業継続	c																																																																																																																																								
	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	b	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	データ活用基盤実装・運用	c	セキュリティ	セキュリティ技術	プライバシー保護	b																																																																																																																																								
		ビジネスモデル設計	b			コンピュータサイエンス	d			セキュリティ設計・開発・構築	d																																																																																																																																								
		ビジネスアナリシス	b			チーム開発	b			セキュリティ運用・保守・監視	d																																																																																																																																								
		検証（ビジネス視点）	b			ソフトウェア設計手法	c			リダーシップ	z																																																																																																																																								
		マーケティング	c			ソフトウェア開発プロセス	c			コラボレーション	z																																																																																																																																								
		ブランディング	c			Webアプリケーション基本技術	d			ゴール設定	z																																																																																																																																								
デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	b	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	d	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z																																																																																																																																								
		価値発見・定義	b			バックエンドシステム開発	d			批判的思考	z																																																																																																																																								
		設計	c			クラウドインフラ活用	d			適応力	z																																																																																																																																								
		検証（顧客・ユーザー視点）	b			SREプロセス	c																																																																																																																																												
		その他デザイン技術	d			サービス活用	c																																																																																																																																												

【重要度凡例】

a 高い実力性と専門性が必要
b 一定の実力性と専門性が必要
c 説明可能なレベルで専門性が必須
d 位置づけや関連性の理解が必要
z 役割や状況に応じた実能力が必要

スキルごとに「重要度」を定義
※レベルではない

共通スキルリスト

共通スキルリストの全体像									
<ul style="list-style-type: none"> 全人材類型に共通する「共通スキルリスト」は、DXを推進する人材に求められるスキルを5つのカテゴリ・12のサブカテゴリで整理している。 各カテゴリは2つ以上のサブカテゴリに分け、1つ目では主要な活動を、2つ目以降ではそれを支える要素技術と手法を、大くりに整理。 									
カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	カテゴリ
ビジネス変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	テクノロジ	デジタルテクノロジ	フィジカルコンピューティング	c
		プロジェクトマネジメント			データ・AI活用戦略			その他先進技術	c
		変革マネジメント			データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価			テクノロジトレンド	c
		システムエンジニアリング			数理統計・多変量解析・データ可視化			セキュリティ体制構築・運営	d
		エンタープライズアーキテクチャ			機械学習・深層学習			セキュリティマネジメント	c
		プロジェクトマネジメント			データ活用基礎設計			インシデント対応と事業継続	c
	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査		データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用		セキュリティ	プライバシー保護	b
		ビジネスモデル設計			コンピュータサイエンス			セキュリティ設計・開発・構築	d
		ビジネスアナリシス			チーム開発			セキュリティ運用・保守・監視	d
		検証（ビジネス視点）			ソフトウェア設計手法			リダーシップ	z
		マーケティング			ソフトウェア開発プロセス			コラボレーション	z
		ブランディング			Webアプリケーション基本技術			ゴール設定	z
デザイン	デザイン	顧客・ユーザー理解	テクノロジ	ソフトウェア開発	フロントエンドシステム開発	パーソナルスキル	コンセプチュアルスキル	創造的な問題解決	z
		価値発見・定義			バックエンドシステム開発			批判的思考	z
		設計			クラウドインフラ活用			適応力	z
		検証（顧客・ユーザー視点）			SREプロセス				
		その他デザイン技術			サービス活用				

各類型・ロール共通の
スキルリストとして定義

スキル内容の他、カテゴリ、
サブカテゴリや、学習項目例
としての詳細を記載

スキル詳細（カテゴリ、サブカテゴリ、スキル項目、内容、学習項目例）

第Ⅲ部 第2章 DX推進スキル標準の構成									
データ活用									
カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	内容（スキル項目ごとの説明）				学習項目例		
データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	<ul style="list-style-type: none"> グラフ・図表等を含む統計情報や各種分析手法を適用したデータ分析結果を正確に理解し、その意味や背景を深く洞察するスキル 				<ul style="list-style-type: none"> データ理解（ビジネス観点での理解、意味合いの抽出、洞察） データの理解・検証（統計情報への正しい理解、データ確認、俯瞰・メタ思考、データ理解、データ粒度） 		
		データ・AI活用戦略	<ul style="list-style-type: none"> 事業戦略や組織的課題、顧客ニーズ等を踏まえて、データ・AI技術を活用した課題解決方法や新たなビジネスモデルを提案するスキル 				<ul style="list-style-type: none"> 着想・デザイン（着想、デザイン、AI活用検討、開示・非開示の決定） 課題の定義（KPI、スコアリング、価値の見積り） 		
		データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	<ul style="list-style-type: none"> データ・AI戦略上の目的の実現に向けたアプローチを設計した上で、データ・AI分析の仕組みを現場に実装し、継続的に改善するスキル 				<ul style="list-style-type: none"> アプローチ設計（データ入手、AI-ready、アプローチ設計、分析アプローチ設計、生成AI活用） 分析評価（評価、業務へのフィードバック） 事業への実装（実装、評価、改善の仕組み） プロジェクトマネジメント（プロジェクト発定、プロジェクト計画、運用、横展開、方針転換、完了、リソースマネジメント、リスクマネジメント） 		

DSSにおける共通スキルリストの考え方(3/3)

- ◆経産省で実施している教育訓練講座の認定「第四次産業革命スキル習得講座認定制度（Reスキル制度）」では、DSSの人材類型を認定対象分野とし、講座内容とロール・スキルと紐づけて審査・認定している。
- ◆教育講座のポータルサイト「マナビDX」では、各講座とDSSのスキルやロールを紐づけ検索・学習できるようにしており、Reスキル認定講座もこのマナビDXに掲載される。

第四次産業革命スキル習得講座認定制度

「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」は、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度です。

認定対象

認定対象分野

(i) IT分野

デジタルトランスフォーメーション推進
(ビジネスアーキテクト・デザイナー・データサイエンティスト・ソフトウェアエンジニア・サイバーセキュリティ)

人材類型		ビジネスアーキテクト				デザイナー			データサイエンティスト				ソフトウェアエンジニア			
		ビジネスアーキテクト (戦略・マネジメント・システム)	ビジネスアーキテクト (ビジネスモデル・プロセス)	ビジネスアーキテクト (データ・AIの応用的活用)	デザイナー (デザイン・UI・UX)	デザイナー (グラフィック)	デザイナー (デジタルマーケティング)	データサイエンティスト (データ・AIの応用的活用)	データサイエンティスト (データ・AIの応用的活用)	データサイエンティスト (データ・AIの応用的活用)	データサイエンティスト (データ・AIの応用的活用)	ソフトウェアエンジニア (ソフトウェアエンジニアリング)	ソフトウェアエンジニア (ソフトウェアエンジニアリング)	ソフトウェアエンジニア (ソフトウェアエンジニアリング)	ソフトウェアエンジニア (ソフトウェアエンジニアリング)	ソフトウェアエンジニア (ソフトウェアエンジニアリング)
ビジネス 変革	ビジネス戦略策定・実行	a	a	d	b											
	デジタルマーケティング	a	a	d	b											
	システムエンジニアリング	a	a	d	b											
	エンタープライズ・アーキテクト	a	a	d	b											
	プロジェクトマネジメント	a	a	d	b											
	ビジネス調査	a	a	d	b											
	ビジネスモデル設計	a	a	d	b											
	ビジネスプロセス設計	a	a	d	b											
	検証（ビジネス視点）	a	a	d	b											
	マーケティング	b	b	d	c											
デザイン	ブランディング	b	b	d	c											
	顧客・ユーザー理解	b	b	d	c											
	情報発見・定義	b	b	d	c											
	設計	d	d	d	c											
	検証（顧客・ユーザー視点）	c	c	d	c											
	その他デザイン技術	d	d	d	c											
	データ理解・活用	b	b	d	c											
	データ・AI活用戦略	b	b	d	c											
	データ・AI活用業務の設計・事業実施・評価	c	c	d	c											
	その他	a	a	d	b											

講座内容とスキル(特に重要度aのスキル)の対応、およびそれに紐づいてロールも対応付けられる

マナビDX

キーワードで検索 例 Python、ビジネスアーキテクト、ITパスポート

デジタルリテラシー講座 デジタル実践講座

3つのカテゴリから
“あなたにぴったりの講座”を見つけよう！

リテラシー講座 から探す 学習できるスキル から探す 目指すロール から探す

ビジネス変革 データ活用

テクノロジー セキュリティ その他

リテラシー講座 から探す 学習できるスキル から探す 目指すロール から探す

ビジネスアーキテクト デザイナー

データサイエンティスト ソフトウェアエンジニア

サイバーセキュリティ

国の指定・認定

教育訓練給付制度（厚生労働省）(82)

第四次産業革命スキル習得講座（経済産業省）

その他 (0)

DSSのスキルやロール、およびReスキル認定講座で検索・学習できるように設計されている

3. 閉会